

学校適正化について

（1）学校適正化のこれまでの経過

- ・平成30年11月 南相馬市公立学校適正化計画を策定
- ・令和元年
～令和2年度 小高区4小学校の適正化に向けて協議
- ・令和3年4月 小高区4小学校を再編統合し、新たに小高小学校として開校
- ・令和3年度
～現在 八沢小学校、上真野小学校、太田小学校の適正化に向け、保護者や地域との協議を行っている。

（2）小中一貫教育について

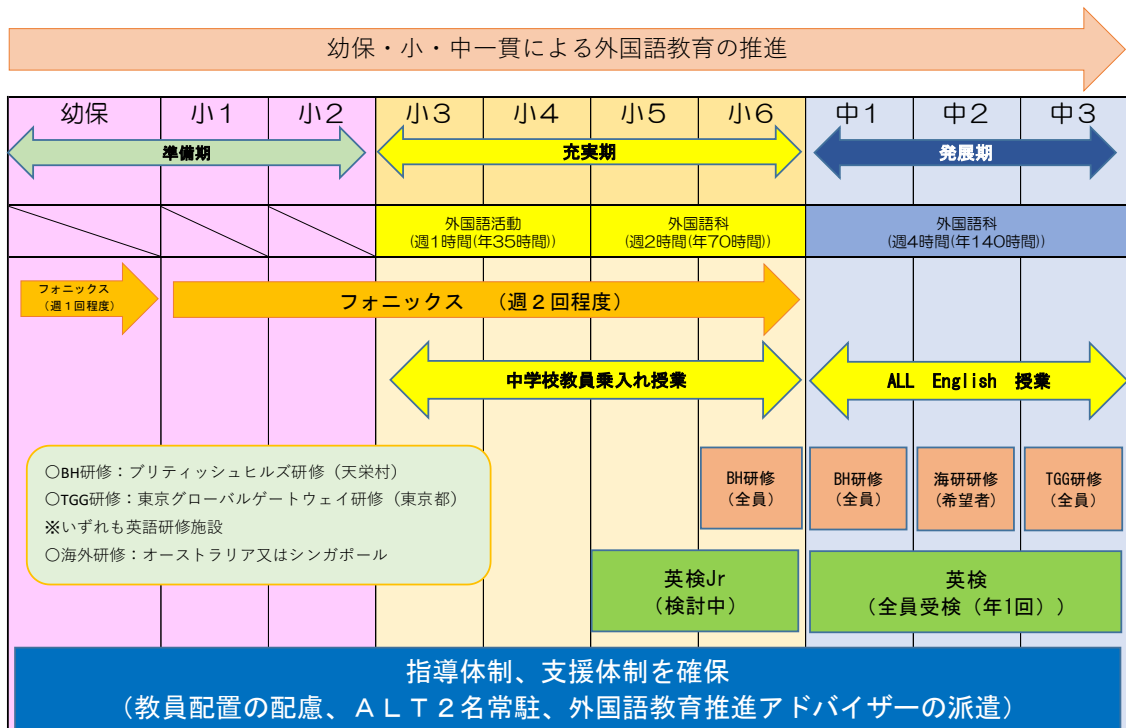
南相馬市公立学校適正化計画では、適正化により「小学校の統合の学区が中学校の学区と同程度になる地域は、小中一貫教育の導入を積極的に検討する」としている。

①小高区での取組み

小高区においては、令和3年4月に小高区4小学校が再編統合されたことにより、小学校と中学校の学区が同じになったことから、『南相馬市立小高小中学校チャレンジ構想』と題し、合同体験学習の実施など小中一貫教育の取組みをスタートしている。

加えて、令和4年度からは、小高区の文教ゾーンとして、おだか認定こども園、小高小学校、小高中学校が隣接している状況を生かし、幼保・小・中連携した外国語教育の取組みを行っている。

《取組みイメージ》



②鹿島区・原町区での取組み

学校適正化の協議の中で小中一貫教育の導入について、保護者の方々から取組んでもらいたいといった意見もいただいている。

今後も引き続き協議を行っていくが、市教育委員会としては、鹿島区・原町区においても学校適正化の協議を踏まえ、小中学校の移転・新設等も視野に導入に向けた検討を進めていく考え。

加えて、原町区の中心部は小学校、中学校の学区が複雑に分かれていることから、学区の見直しについても検討していく。